

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

I 法人の概要 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

1 所在地

北九州市門司区大里新町 11 番 1 号

2 設立年月日

平成 11 年 4 月 26 日

3 代表者

代表取締役 池田 清弘

4 資本金

400,000 千円

5 北九州市の出資金

196,000 千円 (出資の割合 49.0%)

6 役職員数

- ・ 役員数 7 人
 - うち常勤 2 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人)
 - うち非常勤 5 人
- ・ 職員数 2 人 (うち北九州市からの派遣職員 0 人)

II 平成 23 年度事業実績

平成 19 年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線 (北九州・福岡間) 鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成 23 年 3 月末に完成したことから、工事期間中の短期借入金を 8 月末に、みずほコーポレート銀行 969 百万円、日本政策投資銀行 969 百万円 (合計 1,938 百万円) の長期借入に借換えた。

また、財産整理及び固定資産原簿の作成を行い、平成 22 年度の北九州市に引き続き、今年度福岡市へ固定資産税の申告を行った。

施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において分岐器、レール及び踏切補助注意標の一部取替を、JR 貨物施工で行っている。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っており、今後とも日本貨物鉄道株式会社と連携を図り、鉄道施設の維持・管理に努めていく。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、354 百万円となり、当事業年度の長期借入金返済については、みずほコーポレート銀行へ 60 百万円及び日本政策投資銀行へ 86 百万円の返済を行った。

販売費及び一般管理費は 263 百万円である。

以上のような状況のもと、経常利益は 6,419 千円となった。

Ⅲ 平成23年度決算

1 貸借対照表

平成24年3月31日現在（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	197,269	流動負債	217,532
現金・預金	196,851	短期借入金	0
未収入金	0	1年以内返済長期借入金	191,900
前払費用	121	未払金	0
繰延税金資産	296	未払費用	1,038
固定資産	4,100,127	未払利息	14,273
有形固定資産	2,878,798	未払法人税等	1,757
建物及び設備	359,594	未払消費税等	8,218
構築物	3,615,250	預り金	345
機械・装置	46,245	固定負債	3,696,790
工具器具備品	834	長期借入金	3,679,700
土地	10,503	長期前受金	0
減価償却累計額	▲1,153,629	役員退職慰労引当金	11,528
無形固定資産	1,219,215	その他の固定負債	5,561
電話加入権	72	負債の部合計	3,914,322
ソフトウェア	3,885	(純資産の部)	
鉄道軌道連絡通行 施設利用権	1,215,258	株主資本	386,522
投資等	2,114	資本金	400,000
繰延税金資産	2,114	利益剰余金	▲13,477
その他の投資等	0	その他利益剰余金	▲13,477
		繰越利益剰余金	▲13,477
		評価・換算差額等	▲3,477
		繰延ヘッジ損益	▲3,477
		純資産の部合計	383,074
資産の部合計	4,297,397	負債・純資産の部合計	4,297,397

※金額は千円未満切り捨て

2 損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
(営業損益の部)		
施設貸付料	354,737	354,737
販売費及び一般管理費	263,333	263,333
営業利益		91,404
(営業外損益の部)		
受取利息	48	
雑収入	266	314
支払利息	85,299	85,299
経常利益		6,419
特別損益の部		
特別利益		
特別損失		
税引前当期純利益		6,419
法人税等		3,896
法人税等調整額		▲353
当期純利益		2,876

※金額は千円未満切り捨て

IV 平成24年度事業計画

当社の主たる事業は、国、並びに、北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守、維持管理が重要となっている。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めていくとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画や今後の借入金の借換え計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行っていく。

また、厳しい経済環境でも、地球環境にやさしい鉄道貨物輸送に対する期待がますます高まっている。今後、このような状況に応えるため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め鉄道貨物輸送の拡大と地域の発展に寄与していく。

V 平成 24 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部		
(営 業 損 益 の 部)		
施 設 貸 付 料	377,595	377,595
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	277,248	277,248
営 業 利 益		100,347
(営 業 外 損 益 の 部)		
受 取 利 息	50	50
雑 収 入		
支 払 利 息	94,847	94,847
経 常 利 益		5,550
特 別 損 益 の 部		
特 別 利 益		
特 別 損 失		
税 引 前 当 期 純 利 益		5,550
法 人 税 等		3,607
法 人 税 等 調 整 額		40
当 期 純 利 益		1,903

※金額は千円未満切り捨て

VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	池田 清弘	日本貨物鉄道(株)執行役員九州支社長
専務取締役	日笠山 誠	常勤取締役
取締役	中崎 剛	北九州市港湾空港局長
〃	江副 春之	北九州市総務企画局企画担当理事
〃	畑尾 利男	常勤取締役
監査役	小谷 浩史	(株)みずほコーポレート銀行 営業第十五部長
〃	花岡 俊樹	日本貨物鉄道(株)総合企画本部投資計画室長